

## ～ 高齢者買物支援のための 新送迎自転車完成披露イベント ～

住民の高齢化率が47%にのぼる大型団地内の商店街。宅配サービスより人気が高い三輪自転車による無料送迎サービスを始めて5年が経過。この程新たな送迎車が導入され、これを記念して試乗会とバザールを開催。住民サービスの向上と来街の促進が期待されている。

所在地：東京都武蔵村山市緑が丘1460  
TEL・FAX：042-561-3937  
URL：—  
組合員数：39名  
商店街の類型：近隣型商店街

### 商店街の概要と事業を実施した背景

東京都の西部、武蔵村山市の村山団地。昭和41年に完成した5,260戸のマンモス団地で、住民の高齢化が著しく進んでいる。当商店街は団地内にあり、200mの街区に生活必需品等を中心に36店舗が軒を連ねている。住民の高齢化が進み、家に閉じこもりがちになるなど社会的な問題ともなっていることから、市等の支援を得て5年前から三輪自転車による無料送迎を始めた。ボランティアの支援もあり、今や重要な地域の足となっている。平成26年10月に新型の車両が導入されたことから、試乗会を兼ねた集客のイベントを実施した。

### 実施した事業の概要

#### ①新型車の試乗会とテントバザールの開催（平成26年10月15日～18日）

##### 1) 新型車の体験試乗会

新型車には、高齢者が買物等で使用するシルバーカーの載る荷台や雨・風をしのぐカバーが新たに設置され、乗り心地も良いと好評だった。

##### 2) テントバザール

個店の目玉商品を持ち寄ったほか、長野県栄村の物産も併せて販売。店内のものでもテントへ移して出品すると、売れ行きが好調であった。

##### 3) 高齢者の手作り品の展示と販売

手作り作品ブースを設け、8グループ25名が出店。バッグや小物、編み物や装飾品等を並べた。

##### 4) 「クリスマスリース」や「布ぞうり」の手作り教室

商店街の「高齢者相談室」を会場に実施。子供たちが多く参加し、高齢者との微笑ましい交流の場となった。

#### ②レシートラリーの開催（平成26年10月15日～18日・平成27年1月15日～2月15日）

会員店舗のレシート4店分で1回くじが引けるラリーを実施。景品に長野県栄村の物産を提供。1月は「新車両完成記念セール第2弾」と銘打ち、効果の継続を図った。

#### ③高齢者向け冊子（便利帳）の作成と配布（A5判・カラー20,000部）

送迎自転車や会員店舗を写真入りで紹介。商店街マップや高齢者に必要な地域情報も載せた冊子を印刷し、団地内へのポスティングや会員店舗、公共施設等に設置・配布した。



### 成果と成功の要因

新車の試乗会とテントバザールは、4日間で延べ1,250名が来場した。新企画の高齢者の手作り品の展示販売が好評で、高齢者のネットワークによる集客効果が大きかった。また長野県栄村の物産も人気で、特産品はほぼ完売した。さらに高齢者向け冊子（便利帳）に送迎ステーションで販売中の特産品を紹介したところ、急に販売数が増え、追加注文を出すほどの盛況となった。冊子に掲載した店主の顔写真も話題となり、宅配や送迎の依頼も増え、個店の売上に結び付いた。これらの取り組みが新聞等のマスコミに取り上げられたこともあり、歩行者通行量は実施前に比べ2.4倍の大幅増となった。



### 今後の取り組み



商店街では、空き店舗を借上げ「送迎ステーション」を確保。送迎希望者の待合所と依頼電話受付の拠点とし、自転車の運転はボランティア2人と商店主3人で行っている。運転手の安定的な確保が課題だが、お客様との会話が生まれ、生活状況も把握できて高齢者の「見守り」にもつながるため、商店主の参加は継続していきたい。団地住民の高齢化で客数が減る中、商店街は地域に根付いた送迎サービスを核に、今後も大型店との差別化や個店の魅力発信につながるイベント等の充実を考えている。